

熊本都市計画道路の変更（益城町決定）

熊本都市計画道路3.5.95号惣領木山線、3.5.96号横町線、3.5.98号南北線、を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3.5.95	惣領木山線	益城町大字惣領字木神	益城町大字寺迫字中原	益城町大字馬水字大辻	約3,760m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差5ヶ所	
	3.5.96	横町線	益城町大字木山字居屋敷	益城町大字木山字前田	益城町大字木山字居屋敷	約650m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差1ヶ所	
	3.5.98	南北線	益城町大字安永字居屋敷	益城町大字安永字上露込	益城町大字安永字宗曾利	約1,490m	地表式	2車線	12.0m	幹線街路と平面交差3ヶ所	

「位置、区域及び構造は計画図面表示のとおり」

都市計画を変更しようとする理由

●3.5.95号惣領木山線、3.5.96号横町線、3.5.98号南北線

益城町の市街地は、熊本高森線を単一軸として無秩序に拡大した結果、狭隘な道路や旗竿敷地により構成された密集市街地を呈しており、市街地内の交通渋滞対策や歩行者・自転車の安全な通行空間の確保がまちづくりの喫緊の課題となっていた。

併せて、熊本地震では、町の中心軸である県道熊本高森線をはじめ、市街地内の多くの箇所において、倒壊した家屋等により道路が塞がれ、通行機能を喪失し、避難や救急、復旧活動の大きな支障となった。地震により甚大な被害を受けた益城町では、「益城町復興計画」を策定し、災害に強いまちづくりを推進するため、災害時にも機能を発揮する幹線道路ネットワークを構築することとしている。

今回、都市計画変更を行う横町線、南北線は、都市内の円滑な交通や歩行者及び自転車の安全な通行空間の確保など、都市の活動を支える重要な都市施設と成り得ることから、都市計画決定を行っている。当初の都市計画決定は、早急に事業を推進するために、益城町町道の構造の技術的基準に関する条例に基づく道路計画の幅員(歩道端部まで)で都市計画決定を行い、法面等を含む区域については、詳細な測量設計の結果、道路の区域が明確になった段階で、区域の変更追加を行うこととしていた。

今回、詳細な測量設計を行った結果、以下の変更が発生したため都市計画変更を行うもの。

○南北線

詳細測量設計の結果、縦横断計画により、詳細な道路構造等が決定したため、法面の区域を追加する都市計画変更を行う。

○惣領木山線

詳細測量設計の結果、道路構造令により惣領木山線の右折レーン増設が必要なことが分かったため、交差点改良に伴う拡幅部及び法面の区域を追加する都市計画変更を行う。

○横町線

詳細測量設計の結果、道路橋示方書に基づき詳細に設計すると、車道幅員を確保した際の必要な橋梁幅が分かった。また、橋梁に添架する電線共同溝の詳細設計も完了したため、橋梁の構造上必要な幅及び添架物を含めた幅へ都市計画区域を変更する。